

令和4年度第4回「食を通じた地域のプロモーション・交流事業」を 富山県新川地域で開催しました！

本年度第四回目のツアーは、料理教室を展開する株式会社 ABC Cooking Studio のシンガポールスタジオに通う生徒等4名を富山県新川地域に招き、2022年10月30日（日）～11月2日（火）の日程で実施しました。

富山県新川地域は、東部地域の魚津市、黒部市、入善町、朝日町の2市2町により構成されています。3,000m級の山が連なる北アルプス・立山連峰、がある一方、そのふもとにある富山湾は水深1,000mの深海という、稀有な自然環境を有しております。

今回紅葉シーズンに開催しましたが、新川地域の豊かな自然をより一層感じていただけたと思っております。特に紅葉をバックにした黒部峡谷のトロッコ乗車体験は、秋の新川地域の魅力を強く印象付けることが出来ました。

さらに、特殊な地形の産物である新鮮な海の幸、山の幸を存分に味わい、田舎の素晴らしさを感じることができるツアー内容となりました。

ツアーの様子をまとめた動画も公開しておりますので、URL よりぜひご覧ください！

【https://www.youtube.com/watch?v=N_Gf2B-Nhpo】

ツアーの詳細については、以下のとおりです。

1 日 目

<JR 黒部宇奈月温泉駅（ツアー開始）>

暑いくらいの晴天に恵まれ、JR 黒部宇奈月温泉駅にて招聘者の皆さんを出迎えました。早速、マイクロバスに乗り込み、「食を通じた地域のプロモーション・交流事業」がスタートしました。



(JR 黒部宇奈月温泉駅に到着した招聘者の皆さん)



(バスに乗り込む招聘者の皆さん)

<宇奈月麦酒館（工場見学）>

最初に訪れたのはクラフトビール醸造所併設型のレストランである「宇奈月麦酒館」。ここでは黒部川の名水と黒部産二条麦を原料に“宇奈月ビール”が造られております。宇奈月ビールは防腐剤・着色料・香料等添加物を使用せず、生きた酵母を残すなどの強いこだわりで、国際ビール大賞・ジャパンビアカップなど数々の受賞歴を誇るビールです。

今回は普段入ることが出来ない醸造工場内を見学し、工場の方々に製造過程について説明していただきました。生徒さんたちは独特なビールの製造設備をみて、その製造工程のこだわりに関心しつつ、興味深く工場の方々の説明を聞いておりました。



(宇奈月麦酒館の前で記念撮影)



(工場見学の様子)

<宇奈月麦酒館（昼食）>

工場見学を終えた後は宇奈月麦酒館に併設するレストランで昼食としました。先ほど醸造過程を見学した宇奈月ビール3種類（十字峡／トロッコ／カモシカ）の飲み比べは、どれも美味しいと好評でした。

昼食は「富山の幸のわっぱめし」でした。曲げわっぱに、富山湾で獲られた新鮮な白エビやホタルイカなどの海の幸が盛りられており、味はもちろんですが、そのきれいな盛り付けに生徒さんたちは写真撮影も楽しんでおりました。

ビールもわっぱめしも美味しかったようで、食後は宇奈月麦酒館の向いの直売所「うなづき食菜館」で、現地の特産品をお土産に購入しておりました。



(宇奈月ビールの飲み比べ)



(富山の幸のわっぱめし)

<黒部峡谷（トロッコ乗車体験・散策）>

立山連峰と後立山連峰の間を流れる黒部川の浸食により刻まれた日本有数のV字峡「黒部峡谷」。秋のトロッコ電車からは、赤や黄色に染まった木々にエメラルドグリーン色の川を望むことが出来ます。鐘釣駅で下車し、エリアを散策。河原から湧き出た温泉には皆さん驚いておりました。

招聘者の皆さんは「秋に来ることができて良かった」と、色鮮やかな紅葉に感動していました。また、全員が今回のツアーの中で帰国後に最もおすすめしたい場所として、この黒部峡谷をあげており、「人生で1度は見るべき光景」とも言っておりました。



(トロッコから景色を撮影する様子)



(河原に湧き出る露天風呂を触る皆さん)

<黒部峡谷・宇奈月温泉延楽（夕食・宿泊）>

宇奈月温泉延楽は日本有数の透明度を誇る湯が特徴です。湯船から峡谷を眺めることができ、心穏やかなひと時を過ごすことが出来ます。今回生徒さんたちには、それぞれ好きな柄の浴衣を選んでもらい、浴衣の着付けを体験してもらいました。好きな柄が選べる浴衣や、上質感ある和の内装、広いお部屋に、皆さん「特別な体験が出来た」と大満足でした。

夕食は海老やカニ、のどぐろなど、富山の新鮮な海の幸を食していただきました。さらに、地元の方でもなかなか味わう事の出来ない、3種の貴重な地酒を飲み比べてもらいました。

生徒さんたちは、料理や温泉だけではなく、旅館の方のサービスにもとても感動されており、富山のおもてなしの心を感じてもらえました。



(お気に入りの柄の浴衣を着た皆さん)



(日本酒の3種飲み比べ)

2 日目

<黒部峡谷・宇奈月温泉街（散策・商店街見学）>

2 日目は朝の宇奈月温泉街の散策からスタート。宿泊した旅館から山彦橋まで風情ある旅館街を横目に歩き、紅葉を背景に真っ赤な新山彦橋を渡るトロッコを見送りました。散策時には、温泉街 11 店、黒部市内 9 店から 3 店を選び、食べ物などと交換ができる「宇奈月・くろべ食べ歩きクーポン」を使用し、老舗の和菓子などと引き換え、食べ歩きができます。

その後「アルペンチーズケーキ」を訪問し、賞味期限 10 分と言われる雪山をイメージしたピラミッド型のチーズケーキをいただきました。綺麗なガラス製ドームの器と雪かきを思い出すスコップ型スプーンが付いており、見た目にも味にもこだわったスイーツを皆さん楽しんでいました。



(山彦橋からトロッコを見る様子)



(アルペンチーズケーキで記念撮影)

<杉沢の沢スギ（施設見学）>

入善町にある杉沢の沢スギは、国内では珍しい平地の湧水地帯に生育する唯一のスギ林として国指定天然記念物とされています。これは、成長した木の枝が雪の重みで地表に着地し、そこから根がでて、一株から何本もの幹が伸びる“伏条現象”という特徴があるからです。

沢スギ自然館内で沢スギについて学習した後、外の遊歩道を散策しました。水が流れ、多様な植物が生い茂る林内では、都会にはない澄んだ空気を堪能することが出来ました。「リラックスできた」「きれいな水がおいしかった」と生徒さんたちは自然を満喫していました。



(林内で説明を受ける様子)



(湧水を飲む様子)

<入善牡蠣ノ星／入善海洋深層水パーク（昼食／施設見学）>

海洋深層水とは水深 200 メートル以深の海水のことをいいます。ミネラル、栄養塩が豊富で清浄という特性があり、主に水産業に利用されております。「入善海洋深層水パーク」は深層水の飲料としての提供や、アワビの養殖への活用など、周辺一帯が海洋深層水を利用した施設となっています。

海洋深層水について説明を受けた後、3 種類の深層水（原水・濃縮水・脱塩水）を試飲しました。濃縮水は塩分濃度が約 5%とかなり塩辛く、皆さん顔を歪めていました。

その後はパーク内の「入善牡蠣ノ星」で昼食をいただきました。ここでは海洋深層水かけ流しの水槽に牡蠣を入れています。生徒さんたちは焼き牡蠣・蒸し牡蠣・牡蠣フライと、新鮮な牡蠣をふんだんに味わい、高品質でとても美味しかったと大好評でした。



(深層水の試飲)



(牡蠣の昼食)

<柵山いろり館（さん俵作り体験）>

さん俵は稲ワラを編んでできるもので、入善ジャンボ西瓜を包むのに使用されています。入善ジャンボ西瓜は日本一大きいと言われており、平均長さ 40cm、直径 30cm、重さ 18kg です。西瓜は割れやすいため傷つけないように、そして重いため持ちやすくするために、さん俵で包み運んでおりました。

今回は昭和初期の平均的な農家住宅の生活様式や文化を体験できる宿泊施設の「柵山いろり館」にて、西瓜生産者でもあるさん俵の名人と一緒にさん俵の製作を体験しました。

製作には編み機を使用しますが、複雑で集中力のいる作業で、終わった後は、「名人の方たちが優しく、そして忍耐強く教えてくれた」と感激しておりました。



(作業の様子)



(作ったさん俵をもって記念撮影)

<小川温泉元湯 ホテルおがわ／夕食>

2日目は、朝日町にあるホテルおがわに宿泊。山や川に囲まれ、ロビーの広い窓から溪流が見えます。小川温泉は温泉に入った後に子供を授かったという逸話から「子宝の湯」と呼ばれており、女性に人気がある温泉です。

まず、ホテルから少し歩いたところある野天風呂を案内されました。天然記念物の洞窟がそのまま露天風呂になっており、かつ、自然の中で混浴であることに皆さんとても驚かされていました。

その後、各々浴衣を選び、夕食。富山の海鮮はもちろん、地元の牛を使ったしゃぶしゃぶや富山県産米、デザートを楽しみました。



(天然洞窟野天風呂)



(しゃぶしゃぶを食べる様子)

3 日 目

<ヒスイテラス (ヒスイ探し体験)>

3日目の朝は、朝日町のヒスイ海岸でヒスイ探しを行いました。海岸には天然のヒスイが打ち上げられますが、他にも多様な種類の石が落ちているため、地元の名人に同行いただきながらヒスイを探しました。「海岸で宝石を拾うことなんて、珍しい」「名人は一目でヒスイと判別できてすごい」などと、朝日町でしかできない特別な体験を楽しんおりました。



(名人とヒスイ海岸前で記念撮影)



(名人と一緒にヒスイを探す様子)

<ヒスイテラス (アクセサリー作り体験) >

ヒスイ探しの後は、施設内でヒスイを使ったブレスレット製作体験を行いました。朝日町の石作家・野村佳代さんに作り方を教えていただきました。好きな柄の紐と石を選び、細かく編んでいきます。細かい手作業でしたが、得意な方が手伝うなどお互いに協力しながら、自分だけのオリジナルブレスレットを頑張って作りました。

ブレスレット製作の途中には、ヒスイ探しを手伝っていただいた名人の方が、実際に海岸でとれたヒスイを研磨したのを見せに来てくださるなど、朝日町のヒスイのよさが伝わったかと思えます。



(ブレスレットを作る様子)



(ブレスレットを付けて先生たちと記念撮影)

<ヒスイテラス (昼食/タラ汁作り体験) >

昼食は朝日町のソウルフードであるタラ汁を、地元のお母さんたちと一緒に作りました。料理をする前は、スケトウダラをさばくことに皆さん不安そうでしたが、「お母さんたちがよくサポートしてくれて最後まで作ることができた」「大きな魚をさばく体験ができて本当に良かった」と嬉しそうに話しており、料理体験はとても印象に残ったようです。

作ったタラ汁は富山県産のとろろ昆布で包んだおにぎりとともに食しました。「今まで食べた海鮮スープの中で一番美味しい」とタラ汁は大好評で、おかわりしている姿も見られました。帰りには、「ぜひシンガポールでも作ってみたい」とも話していました。



(タラをさばく様子)



(地元のお母さん方といただきますの記念撮影)

<朝日町歴史公園 旧川上家 (バタバタ茶体験) >

朝日町歴史公園には県下最古の江戸時代の町家を移築した旧川上家があります。当時の日本家屋の部屋や調度品に皆さん興味を持っておりました。旧川上家の囲炉裏端で、伝統文化である後発酵茶「バタバタ茶」を煎じて飲む体験をしました。「バタバタ茶」は茶筌をあわただしく振る様子から名づけられており、皆さん一生懸命茶筌を動かしていました。普通のお茶よりも少し苦さのある味を楽しんでもらうことが出来ました。

公園周辺に住んでいる方から毎年干し柿をいただくそうで、囲炉裏の上に吊るされていたものをご厚意で分けいただきました。皆さん干し柿をととても気に入った様子で、苦いお茶にも合うと喜んでいました。



(日本家屋で記念撮影)



(バタバタ茶をたてる様子)

<中島果樹園 (リンゴ収穫体験) >

魚津市にある中島果樹園では梨やりんごなどの果実を生産しています。果樹園には自家産果実の無添加ジュースやジャムなどを販売しています。梨とリンゴのミックスジュースをいただきましたが、美味しいと好評でした。

ジュースを飲んだ後は、魚津りんごの収穫体験をしました。魚津りんごは他の生産地よりも長く樹上で育つため、限界まで熟した糖度が非常に高いりんごになりますが、生産量が少なく、市場にあまり出回ることはありません。果樹年の方にりんごの取り方を教えていただき、好きなりんご2個を選んで収穫しました。生徒さんたちは「こうした果樹園には初めて来て、うきうきしている」「都会にはない、新鮮な体験だった」と、田舎ならではの体験が出来たと思います。



(梨とりんごのミックスジュースを飲む様子)



(収穫後に果樹園の方と記念撮影)

<魚津埋没林博物館／KININAL（施設見学／ケーキ試食）>

魚津埋没林博物館では、埋没林と蜃気楼について学芸員さんから説明を受けました。国の特別天然記念物の魚津埋没林は、発掘した状態、場所で保存、展示されています。水中保存されている埋没林の樹根は迫力がありました。

また魚津は”蜃気楼の見える街”と言われており、博物館には蜃気楼に関する展示も数多くあります。皆さんも「蜃気楼の仕組みや屈折の角度などが理解できた」と話していました。

博物館にはカフェ「KININAL」が併設されています。KININALでは柿、梨、キウイ、パイナップルの4つの種類のフルーツケーキを試食しました。フルーツそのものがケーキとなっており、割るとクリームなどがでてきて、皆さん驚いていました。ケーキの味や見た目の良さはもちろんですが、店内の雰囲気もガラス張りで清潔感があり、「シンガポールに直営店を出してほしい」と全員が店長にお願いするほど気に入った様子でした。



(埋没林を見る様子)



(KININALのホールフルーツケーキ)

<金太郎温泉（夕食／宿泊）>

金太郎温泉は100%源泉かけ流しの温泉で、かつ、国内でも珍しい塩化物泉と硫黄泉の混合泉です。今年リニューアルオープンしたギフトショップ「北前船」は、地域名産品が数多く揃えられており、皆さん自国へのお土産をたくさん買われていました。

夕食では、白エビや紅ズワイガニなどの富山の海鮮に加え、和牛を味わいました。「お部屋や夕食、全てを楽しみました」「温泉もサービスも夕食も全て良く、ここを選んでくれたツアーに感謝しています」と金太郎温泉の魅力を存分に味わっていました。



(開放感のあるロビー)



(夕食の様子)

4 日 目

<道の駅KOKOくろべ（お土産購入）>

黒部市の道の駅「KOKOくろべ」は、2022年4月22日にオープンした新しい道の駅です。展望台や水辺空間などがあり、ゆっくりと休める場所になっています。黒部産の野菜やお米、黒部市のお土産が一通りそろっており、市の魅力が詰まっています。

皆さん自国へのお土産だけではなく、帰りの新幹線で食べるための鰯寿司などを購入していました。お買い物後はフードコートを見て回ったり、水辺のエリアで写真を撮ったりと、黒部市の新たな観光スポットを存分に楽しんでいただきました。



(鰯寿司をもって記念撮影)



(水辺エリアの様子)

<くろべ牧場まきばの風（バター作り体験、アイスクリーム作り体験）>

くろべ牧場まきばの風は、黒部川扇状地を一望できる高台に位置し、乳牛の育成及び生乳の生産、オリジナル乳製品の加工販売を行っています。新鮮な牧場の牛乳を使用して、バターとアイスクリーム作りを体験しました。牧場の方から牛乳について説明を受けながら作ることで、乳製品の製作過程についてより理解を深めていました。

好天の中、紅葉に染まる景色を見ながら、出来上がったバターとアイスクリームをクラッカーとともに試食したほか、ヤギなどの動物と触れ合うなど、牧場を楽しんでいました。



(アイスクリームを作る様子)



(外で牧場の方と記念撮影)

<JR 黒部宇奈月温泉駅 (ツアー終了)>

早いもので3泊4日のツアーは終わり、皆さんとお別れする時間となりました。

この度のツアー内容につきましては、皆さんのSNS (Instagram) を通じて、シンガポールの方を中心に、全世界へ新川の魅力を発信していただきました。新川に実際に触れていただき、ツアーを楽しんでいただけたことは、外国人観光客が何に魅力を感じるのかを認識する貴重な機会になりました。また、外国人観光客の受け入れ態勢についても見直すことができ、今後の新川地域のインバウンド戦略の一助になったのではないかと考えております。

特に、黒部峡谷などの景観の美しさや地方ならではの空気感は、都会であるシンガポールに住む方には新鮮だったようです。今回は秋のツアーになりましたが、残雪の朝日岳、舟川べりの桜並木、チューリップ、菜の花を楽しむことができる、朝日町の春の風物詩「春の四重奏」に大変興味を持たれており、「他の季節にもぜひ来たい」「長期滞在用に新川に別荘を買いたい」など、再訪を望む声が多く聞かれ、新川の観光魅力を存分に伝えることが出来たと感じました。

終わりに、本ツアーで得た写真や動画などのPR素材、アンケートにて指摘いただいた発信ポイントや改善点を活用し、今後の富山県新川地域の海外戦略がさらに進展することを期待し、活動報告といたします。



(JR 黒部宇奈月温泉駅でお別れ)

参考 (主なツアー行程)

1日目

時間	場所 (内容)
11:52	JR 黒部宇奈月温泉駅 (ツアー開始)
12:15 ~13:00	宇奈月麦酒館 (工場見学)
13:00 ~13:45	宇奈月麦酒館 (ビール試飲・昼食)
14:00 ~17:20	黒部峡谷トロッコ (トロッコ乗車体験・散策)
18:00 ~20:30	宇奈月温泉 延楽 (夕食)

2 日目

8 : 40 ～10 : 30	黒部峡谷・宇奈月温泉街（散策・スイーツ試食）
11 : 10 ～12 : 10	杉沢の沢スギ（施設見学）
12 : 30 ～14 : 30	入善海洋深層水パーク・入善牡蠣ノ星（施設見学・昼食）
14 : 45 ～15 : 45	桐山いろり館（入善ジャンボ西瓜さん俵製作体験）
16 : 15 ～18 : 30	小川温泉元湯 ホテルおがわ（野天風呂見学・夕食）

3 日目

8 : 30 ～13 : 00	ヒスイテラス（ヒスイ探し体験・アクセサリ作り体験・タラ汁料理体験）
13 : 20 ～14 : 20	朝日歴史公園 旧川上家（バタバタ茶体験）
15 : 00 ～16 : 00	中島果樹園（りんご収穫体験）
16 : 10 ～17 : 10	魚津埋没林博物館・K I N I N A L（施設見学・スイーツ試食）
17 : 30 ～20 : 00	金太郎温泉（夕食）

4 日目

9 : 00 ～9 : 40	道の駅KOKOくろべ（お土産購入）
10 : 00 ～12 : 00	くろべ牧場まきばの風（アイスクリーム・バター作り体験）
12 : 15～	JR 黒部宇奈月温泉駅（ツアー終了）